

茨城県下水道事業経営戦略の改定について（概要）

令和5年3月

1 改定の目的

茨城県下水道事業経営戦略（H28～H37）については、本県下水道事業を適切・安定的に運営していくためにH28年6月に策定され、策定後5年目の令和2年度に後半の5年間（令和3年度～令和7年度）の見直しを行ったところであるが、令和5年3月に本経営戦略の成果指標の一部になっている「茨城県生活排水ベストプラン」の目標値等が改定されたことから、本計画に関する数値や記述等について一部見直しを行う。

2 主な改定の内容

（1）「生活排水ベストプラン」の改定に伴う以下の成果指標（令和7年度目標値）の見直し

	<改定前>		<改定後>
①下水道普及率	68.6%	→	66.6%
②下水道接続率	92.6%	→	92.5%
③下水道処理人口			
霞ヶ浦流域	644,300人	→	621,612人
涸沼流域	80,700人	→	76,770人
牛久沼流域	111,100人	→	126,029人

（2）成果指標の令和2年度目標値（中間年）を実績値に更新

（3）財政収支計画における実績、県人口など各種統計データ等の時点更新

※なお、今回の見直しは、新たな項目の追加等は行わず、「生活排水ベストプラン」に関する数値や記述等についての見直しや各種統計データ等の時点更新など、必要最小限の見直しを行った。

3 経営戦略の概要

（1）計画期間

平成28年度から令和7年度（10年間）

（2）経営方針及び主要施策

<安心で快適な生活環境づくり>

①接続人口の拡大、②湖沼等の水環境改善、③地球温暖化への対応

<安全で計画的な施設の構築と運営>

①施設の老朽化対策の推進、②防災減災・危機管理対策の推進、③施設の管理運営の充実

<安定した経営基盤の確立>

①安定した財政運営、②経営の効率化、③下水道資源の活用

（3）投資計画・財政収支計画

計画期間における投資計画及び財政収支計画を鹿島臨海特定公共下水道事業及び流域下水道事業（7事業）で策定